

報道関係者各位

2026年10月16日(金)

リックス株式会社

代表取締役社長執行役員 安井 卓

(証券コード：7525 東証プライム 福証)

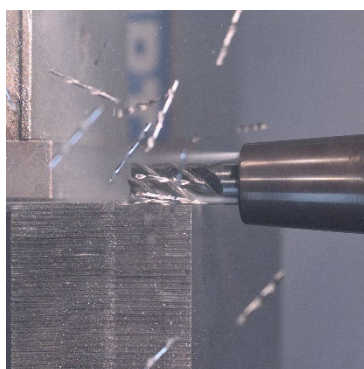
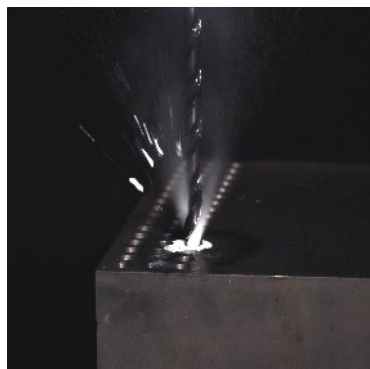
【切削加工の常識を覆す次世代技術】
超臨界CO2発生装置「Pure-Cut」の国内OEM生産を開始
～難削材加工における「高速化」や「工具の長寿命化」を実現～



国内外の産業界を下支えする”メーカー商社”であるリックス株式会社(本社：福岡市博多区、代表取締役社長執行役員 安井卓、以下 当社)はこの度、FUSION COOLANT SYSTEMS (本社：アメリカ ミシガン州、以下 FUSION社)が開発・製造する超臨界CO2発生装置「Pure-Cut (ピュアカット)」について、国内OEM生産を開始したことをお知らせします。

なお、Pure-Cutは2026年10月26日(月)から開催される「JIMTOF (第33回 日本国際工作機械見本市)」の当社ブースにて初展示します。

■Pure-Cutとは



超臨界CO2と極少量の潤滑油を融合させた次世代ハイブリッド冷却システムです。-78.5℃のドライアイス粒子により、切削加工時の加工熱を抑え込み、高速切削や工具寿命の延長を実現。チタン合金など難削材の加工効率を高めることが可能です。(加工特許取得済)

■国内OEM生産の目的

航空宇宙や医療、自動車部品などの業界において、チタン合金やカーボンなどの難削材需要が高まる一方、加工時の「発熱」が生産性向上の大きな壁となっています。

FUSION 社が開発した「Pure-Cut」は、欧米で高い実績を持つ革新技術ですが、日本国内での普及には「高圧ガス保安法への適合」や「迅速な国内保守体制」が不可欠でした。

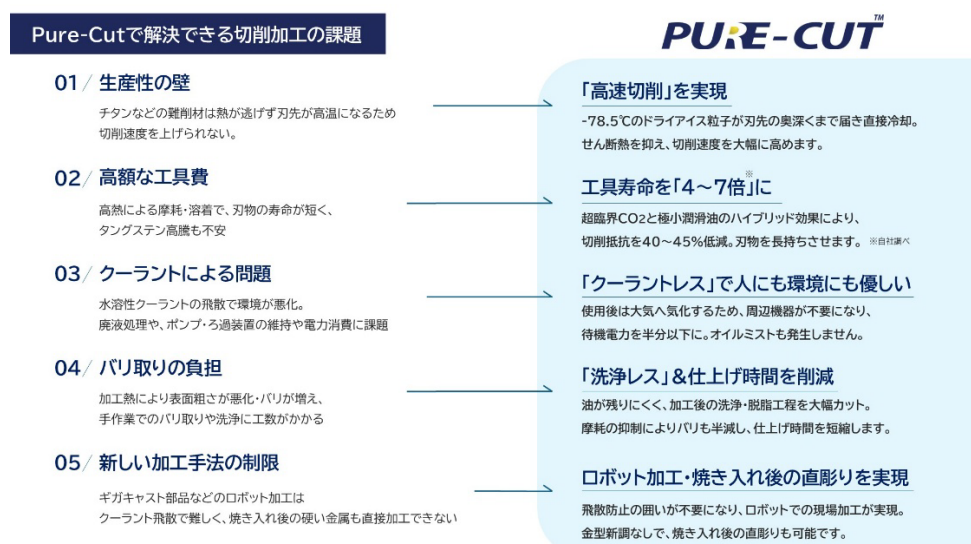
同社と OEM 契約を締結することで、日本の法規制に完全準拠した安心の「国産モデル」として製造・導入支援体制を確立しました。

■対象となる業界・素材

Pure-Cutを導入することで、多様な難削材を効率的に加工でき、工具寿命の延長も実現します。

業界	航空宇宙、医療、自動車部品（歯車など）、工作機械、その他切削加工全般
素材	チタン合金（Ti-6Al-4V（Ti-64）、Ti-5553他）、ニッケル合金、バナジウム鋼、インコネル、ステンレス鋼、鋳鉄、カーボン系素材、焼き入れ後の高硬度金属など

■Pure-Cutで解決できる切削加工に関する課題



Pure-Cutにより「高速切削」「工具の長寿命化」「人にも環境にも優しい」「仕上げ時間を削減」など、切削加工に関する様々な課題を解決することが可能です。▶[詳細はこちら](#)

■JIMTOFへの出展について

当社は2026年10月26日(月)より開催される「JIMTOF（日本国際工作機械見本市）」にPure-Cutを展示します。難削材加工にお悩みをお持ちのお客様はぜひ当社ブースまでご来場いただけますと幸いです。

展示会名	第33回 日本国際工作機械見本市「JIMTOF 2026」（会場：東京ビッグサイト）
開催日時	2026年10月26日(月)～31日(土) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
当社ブース	東3ホール E3024
製品詳細	https://www.rix.co.jp/products_services/products/category/scco2_supply_system/pure-cut/

■本プレスリリースに関するお問い合わせ

リックス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ 電話：092-688-6168 / メール：irkoho@rix.co.jp